

【内容】運動能力テストの結果を生かした取り組み

「カードの活用」

1 「活動内容」

(1) 鬼無っ子チャンピオン大会

9月から1月までに、きなしスポーツ委員会が、県教委作成「讃岐っ子チャレンジブック」を参考に種目を選び、「〇〇月間」として各学年に周知する。それを体育の時間等を利用して取り組みを高め、記録に挑戦することを通して、運動への親しみ、集団でかかわる楽しさや喜びを味わわせる。さらに実施した種目の好記録は、きなしスポーツ委員会が昼の放送で全校生に知らせる。また、学年団で電子媒体に記録しておき、年度末に体育主任が県教委に報告する。2学期の終業式にはチャレンジ認定表に記入して、児童に渡す。

(2) 「縄跳び月間」及び「なわとびチャンぴょん大会」

12月、1月を縄跳び月間とし、なわとびカードを渡す。それを利用して、自分の身体能力に応じた課題を持ち、友だちと競い合い、励まし合いながら、体育の時間に行ったり、自主的に行ったりして縄跳びの技に挑戦させる。期間中は、体育館後ろ半面とジャンピングボードを使用可とする。2月の第1週に「なわとびチャンぴょん大会」を学年ごとに種目を決めて行い、各学年の男女別1位～3位には「チャンぴょん賞」を渡し、全校生の前で発表する。

(3) さわやかマラソン

「さわやかマラソンカード」を配り、2月5日～2月22日の月、水、金（雨天の場合は順延）の2校時と3校時の行間の時間に準備体操の後、5分間走る。1周1、2年生は100m・3、4年生は150m・5、6年生は200mを走る。走る周回は、無理をしないように個人の体調に応じて走らせ、記録させる。また、体育の時間にも持久走を取り入れ、その記録もカウントし、マラソン完走カード（高学年用・低学年用）に記入する。自分の目標に達した児童に「達成賞」・完走した児童に「完走賞」をきなしスポーツ委員会が渡す。

2 児童・生徒（保護者）の反応

- 月ごとに種目が異なるので、意欲的に取り組んでいる。
- カードに記入して、自分の目標に向けて運動したり、友達と比べ合うなど積極的に取り組んでいる。

3 成果と課題

- 各種運動を行うことで、体力が向上した。
- 毎年取り組んでいるので、ややマンネリ化してきた。